

北海道留寿都農業高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和2年度に重点化した取組の実現状況・課題			
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	(1)アグリマイスター顕彰制度を推奨して、農業教育の質を向上させます。 (2)農業クラブ活動を充実させ、農業教育の活性化を目指します。	(1)日本農業技術検定3級の合格率100%達成 (2)上位大会出場はできなかったが積極的な参加は見られた。	(1)資格取得への意欲の維持 (2)プロジェクト学習の低学年からの基礎力向上	3
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	(1)教科指導の充実を図り、国際教育の推進を図ります。 (2)GAPの可能性を模索する活動の推進	(1)SDGsへの学習を数科目で実施。 (2)ガラス温室が更新され、GAP対応への基礎が一つできた。	(1)GAPに対応できる農場の環境整備	2
II 地域社会・産業に 寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	(1)地域の農業生産を理解し、生産技術の向上を図ります。 (2)ICTの活用を模索、検証を図る。	(1)地域の資源を活用したプロジェクト学習が行えた。 (2)ICTの有効活用は情報発信にとどまっている。	(1)生産分野におけるICTの活用	2
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	(1)地域農業と連携し、農業及び、農業関連産業人の育成を図ります。 (2)ICTの活用を模索、検証を図る。	(1)農家委託実習受入は断念し校内実習とした。 (2)地域の畜産に興味を持ち、就職。	(1)農業分野での進路希望者の維持・増加	4
III 地球環境を守り 創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	(1)人と環境との関わり、地域環境について科学的視点を踏まえ、環境教育を推進します。 (2)地域の環境美化活動に参加し、保全活動を推進します。	(1)村木を題材にし地域理解や環境について学んだ。 (2)JAからの資料や資料提供といった協力を得られた。	(1)環境学習にさらに踏み込んだ教材や資料の充実	3
	⑥「食農」教育を推進します。	(1)各機関との農業体験交流を積極的に推進し、食農教育の充実を図ります。	(1)村給食センターとの連携により、小学生にはたらかける活動を実施。	(1)新型コロナ対策を踏まえた交流のあり方	4
IV 地域防災を推進 する学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	(1)地域農業を理解し、農業教育の推進を図ります。	(1)教職員の教科間連携への意識が高まり、教科や科目間横断的な指導を行えた。	(1)生産物の品質向上と評価法	3
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	(1)地域の行事に積極的に参加し、地域との交流を深めます。 (2)福祉施設、高齢者への支援活動を積極的に推進します。	(1)販売実習による交流で学校の活動をアピールできた。 (2)花壇造成などの交流に変わる支援、農福融合等の学習を進めた。	(1)新型コロナ対策を踏まえた、販売や交流の方法 (2)農福連携についての理解を深める	4
	⑨「機関・団体と連携した」教育を行います。	(1)地域の農業関連機関、道の駅、大学との連携を推進します。 (2)養護学校との交流を通して、福祉・農業教育を推進します。	(1)北翔大学との交流をリモート活用で実施。	(1)生徒の主体的な活動を中心とした交流	4
	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	(1)地域及び学校防災マニュアルを基に、防災意識を高める教育を展開します。	(1)安全を意識した実習や臨機応変な対応ができる訓練が実施できた。	(1)事故防止を意識した対応の深化	5